

令和7年度 第2回 二宮町地域公共交通活性化協議会議事要旨

開催日時	令和8年1月23日（金）14:00～15:10	
開催場所	二宮町役場 2階 第1会議室	
出席者	委員	出席者14名（うち代理出席2名）、欠席6名
	その他	傍聴者4名
	事務局	政策部企画政策課3名
会議次第	1. 開会 2. 議題 (1) 二宮町地域公共交通計画の評価について (2) 令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について (3) にの♥バスの利用促進策と今後の検討について (4) その他 3. 閉会	

協議会委員出席名簿

No	氏名	所属団体	出欠	備考
1	宮嶋 智也	二宮町政策部	○	副会長
2	橋山 英人	神奈川中央交通株式会社	○	
3	小嶋 光行	神奈中タクシー株式会社	×	
4	小堤 健司	一般社団法人神奈川県バス協会	○	
5	永山 輝彦	一般社団法人神奈川県タクシー協会	○	
6	岩間 靖典	二宮町地区長連絡協議会	×	監事
7	西山 一雄	二宮町ゆめクラブ連合会	×	
8	秋山 周一郎	二宮町PTA連絡協議会	×	
9	稲葉 博信	一般公募	○	
10	高見 利和	一般公募	○	
11	森下 文章	国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局	○	
12	石井 忠孝	神奈川県交通運輸産業労働組合協議会	×	
13	鳥澤 清志	神奈川県平塚土木事務所	○	代理
14	廣野 修一	神奈川県県土整備局都市部交通政策課	○	監事
15	安藤 好幸	二宮町都市部	○	
16	野田 繁夫	神奈川県大磯警察署	×	
17	国分 宏樹	東日本旅客鉄道株式会社横浜支社	○	代理
18	梶田 佳孝	東海大学建築都市学部土木工学科	○	会長
19	和田 隆彦	二宮町福祉部	○	
20	小椋 淳喜	二宮町社会福祉協議会	○	

議事概要

1. 開会

2. 議題

◎は会長、○は委員、●は事務局の発言

・議題（１）二宮町地域公共交通計画の評価について

- ◎ コミュニティバスの利用者は順調に増えていますが、ICの導入により、手形や回数券のあり方については検討していく必要があると思います。
- ◎ 引き続き、目標に対する実績値の経過を見て、施策の効果を確認していきたいと思います。

・議題（２）令和7年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について 意見なし

・議題（３）にの♥バスの利用促進策と今後の検討について

- コミュニティバスについて、PRや運賃を安くすることより、利用者のニーズに合わせるということが重要だと思います。

例えば、買い物は大体1時間程度で終わりますが、現状のダイヤですと、着いてから帰りのバスが来るまで2時間空く便は、利用者が少ないように思います。西友よりもザ・ビッグ前バス停の方が利用者が多いのは、店舗からバス停が近く、行きも帰りも道を渡らずに同じバス停から乗れることが影響しているのではないのでしょうか。

つまり、利用ニーズに合った運行をすることが大事だと思います。

- 妊産婦については、大体の方が車を運転できると思うので、なかなか利用者を増やすのは難しいと思います。
- コミュニティバスの今後を考える時に、誰がどういったニーズで乗っているか、乗りたいかという視点で考えていただきたいと思います。
- 土日も運行できるとよいと思います。
- 運行が神奈川中央交通から神奈中タクシーに変わって、新しい方が運転していますが、コミュニケーションが少ないと感じる場面があり、年配の方が多いので、細かい案内等があると良いと思います。
- バスのダイヤについては、運転手の休憩時間が必要になりますので、勤務形態の制約を加味した上で検討する必要があります。
- ザ・ビッグ前バス停の後に旧県道を通ると、一色の方が使いやすいという声もありますが、いただいた意見も踏まえ、慎重に検討したいと思います。
- ◎ 土日の運行については、利用者の状況を見ながら考えてもらいたいと思います。
- 運転手については、お客様によって気持ちの良いコミュニケーションは異なりますし、道に慣れていない方は安全運転に集中しているので、慣れてくれば徐々に余裕が出てくることもあると思います。
- 新しく転入する方へコミュニティバスの周知は実施しているのでしょうか。
- 現状は特に案内はしていません。
- ぜひ、転入される方向けにパンフレットを配ることも考えていただきたいです。

- 機会をとらえて、案内できるよう検討します。
- ◎ 動画の作成予定はどのようなか。
- 専用の動画編集ソフトでの作業となりますが、字幕や音声等も含めて編集作業が難航しています。10分程度の動画を作成し、委員の皆様にご確認いただきましたが、ご意見を踏まえ、より短く利用方法が簡潔に分かる動画を作成する予定です。

・議題（４）その他

地域公共交通の今後のあり方についての検討状況について

- 昨年6月の第1回協議会において報告をさせていただきましたが、神奈川中央交通より、運転手不足等を理由として、本町を運行するバス路線を対象に、持続可能なモビリティサービスの在り方の協議の申し入れがありました。その報告の際に、詳細については「幹事会」で検討を進めていくご意見がありました。

その後、第1回幹事会を10月に開催し、「対象路線の把握」を行いました。

幹事会の中では、利用者がある程度いる中で、再編することは影響が大きく、これだけの住宅地で一足飛びに進めるのは難しい、などのご意見があり、現在の乗降データを分析することとなりました。

第2回幹事会を12月に開催し、7月下旬に実施されたダイヤ改正（減便）後のデータ分析に基づき、利用者の把握を行い、その結果が今回、報告させていただく資料となります。

神奈中から団地中央に集約する案をご提案いただき、検討を行いました。

朝晩の通勤時間帯は利用者数が多いいため、昼間の便についての状況となります。

各路線とも、朝9時台から16時台まで1時間に1本ずつ便が出ていますので、その便毎に人数を出しています。

まず、①の緑が丘ですが、平均で大体7人から15人程度、最大で22人から53人となっています。この路線は二宮高校生も利用することから、参考として（）の数値は二宮高校生を除いた推定値です。平均としては、5人から11人程度、最大で21人から46人となっています。

②の百合が丘北循環、③の百合が丘南循環も同様に、平均が7人から14人程度、最大で20人から43人となっております。

このことにより、昼間の便についても一定の利用者がおり、大型バスから小型車両に転換して輸送することは難しいことが分かったため、幹事会の中では、再編は時期尚早ではないか等のご意見がありました。

幹事会での意見を踏まえ、神奈中から再編案が出されることになっています。

今後、協議を進めていく中で、決定する前に協議会に報告させていただきたいと考えています。

- 問題は運転手不足だと思いますが、百合が丘や緑が丘に行っているバスは、団地中央を通過して二宮駅に行っているため、緑が丘や百合が丘だけを回るバス便を運行し、団地中央で乗り換えるような形にすれば、団地中央と二宮駅間の運行を削減でき、運転手の削減に繋がるのではないのでしょうか。
- 幹事会の中で検討させていただきます。
- こういった視点で考えたらどうかとか、様々な意見をいただきたいと思います。

報告事項 神奈川中央交通(株)の路線バスの運賃改定

- 4月4日（土）から運賃改定を実施予定です。少子高齢化や新たな生活様式の定着による

移動需要の減少、乗務員確保、設備投資のため、初乗り運賃を 210 円から 230 円とし、途中区間の運賃についても、認可が下り次第、ホームページ等で公表します。

- 運転手不足を解消するためにも、もっと運賃を上げてよいのではないのでしょうか。
- 運賃改定については、国の認可の範囲内で適宜実施し、運転手の待遇を改善しています。

3. 閉会

以上